

産地パワーアップ事業
都道府県事業評価参考様式

都道府県名 鹿児島県

1 産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができる こと。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考							
					現状				目標				実績															
					年度	面積	生産 量、出 荷量、 又は処 理量	単 位	年度	面積	生産 量、出 荷量、 又は処 理量	単 位	年度	面積	生産 量、出 荷量、 又は処 理量	単 位												
錦江町 農業再 生協議 会	3	大根占南	菜ねぎ レタス キャベツ パレイショ	水田の汎用化による菜ねぎ、キャベツ、レタス、パレイシよの産地形成の推進	生産コストの10%以上の削減	30	1,622,616 円	8.7	ha	243.5	t	3	1,406,060 円	9.9	ha	546.5	t	3	1,834,622 円	8.5	ha	211.0	t	申告の際のコストデータ等により、生産実績と目標値を比較し、検証する。	-97.9%	機械化による作業効率は実感できているが、生産コスト経営として計上できていない。また、他品目(スナップエンドウ)への転換等により面積・生産量が減少し、達成率はマイナスとなった。今後は栽培指導を受け、肥料費及び農業衛生費の抑制に努め、さらなるコスト削減を指導するとともに、栽培面積の拡大を推進する。	トラクター等をリース購入したが、肥料費等の高騰により、目標を達成することができなかった。県では、目標達成できるよう、引き続き関係機関・団体と連携して、適期栽培管理を指導する。	

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議 会名	整理 番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標												地域(県又は国)の 価格(販売単価)				補正係数	価格補正 後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができる こと。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考													
					現状				目標				実績				事業実 施前年 度		目標年 度																					
					年度	面積	生産 量 又は出 荷量	単 位	年度	面積	生産 量 又は出 荷量	単 位	年度	面積	生産 量 又は出 荷量	単 位	年度	面積	生産 量 又は出 荷量	単 位								単 位	単 位											
出水地 域果樹 産地協 議会	1	出水地区	果樹 (甘夏類、 不知火、温 州みかん、 その他果樹 類)	①優良品種への転換等による生産面積拡大 ②共販誘導や新規就農者確保・育成による取扱量の拡大 ③園芸振興協議会と連携した生産指導による単収向上 ④光センサーの機能向上により、高品質果実の安定出荷による販売単価の向上	販売額の10%以上の増加	29	551,376 円/10a	229	ha	5,012	t	252	円/ kg	3	696,528 円/10a	289	ha	8,000	t	252	円/ kg	3	611,576 円/10a	219	ha	5,012	t	268	円/ kg	231	円/ kg	228	円/ kg	1.013	619,526 円/10a	47.0%	他産地とのリレー出荷と販売環境の持ち直しもあり価格は堅調に推移した。令和3年度は温暖化の影響などによる着果数の減少や生理障害の影響で、想定していた単収を下回った。目標達成に向けて、引き続き、優良品種への転換等による生産面積の拡大、園芸振興協議会と連携した生産指導による単収向上に取り組む。また、需要動向に対応した販売体制の強化による単価向上に取り組む。	園芸振興協議会等と連携した生産指導などによる単収向上に取り組んだが、高温乾燥等の天候不順の影響により、単収が低く、成果目標は達成できなかった。今後、目標達成に向けて、引き続き、優良品種への転換等による生産面積の拡大、園芸振興協議会と連携した生産指導による単収向上に取り組む。また、需要動向に対応した販売体制の強化による単価向上に取り組む。	取組主体の年度別販売実績により検証 ○現状値 (29年度) ・単収 2,188kg/10a ・単価 252円/kg ○目標値 (3年) ・単収 2,764kg/10a ・単価 252円/kg	
志布志 市農業 再生協 議会	5	志布志	ケール ピーマン キャベツ 馬鈴薯	堆肥舎施設の活用による安定的な堆肥の生産、計画的な散布による、ケール、ピーマン、キャベツ、馬鈴薯の品質向上及び産地の拡大 堆肥舎を整備し、計画的な搬入及び排出による計画的な適期散布、面積拡大及び品質向上による販売額の増加	販売額の10%以上の増加	30	299,378,000 円	51.6	ha	1982	t	151	千円/ t	3	385,961,000 円	66.0	ha	2519	t	153	千円/ t	3	459,702,000 円	50.3	ha	2,301	t	200	千円/ t					185.2%	面積、生産量とも目標を達成することができなかったが、販売単価が目標よりも上回ったことから目標を達成することができた。面積、生産量の目標達成に向け、引き続き指導する。	堆肥舎を整備したことにより、完熟堆肥の散布が可能となったことから品質向上が図られ、目標を達成することができた。	生産実績と目標値を比較し、検証する。	契約取引のため価格補正なし		
志布志 市農業 再生協 議会	6	志布志市有明	にんじん	にんじん産地形成の推進	販売額の10%以上の増加	30	59,596,000 円	15.3	ha	634	t	94	円/ kg	3	71,780,000 円	17.3	ha	740	t	97	円/ kg	3	44,357,036 円	22	ha	673	t	65.9	円/ kg	156	円	121	円	1.289	57,168,052円	-19.9%	昨より面積を拡大し、目標面積達成をしているが、今年は、品質向上のため排水対策として、枕歌を放置しなかったため作付面積が減り収量減となった。収量を増やさない事には目標達成が困難であるため、収量を増加させるよう指導を行う。	集出荷貯蔵施設を整備し、面積は目標を達成することができたが、収量が目標を達成しなかったことにより、成果目標を達成することができなかった。県では、目標達成できるよう、引き続き関係機関・団体と連携して、適期栽培管理を指導する。	出荷伝票、作付台帳から面積、出荷量、単価を検証 【価格補正根拠】 青果物卸売市場におけるにんじん卸売単価	
大崎町 農業再 生協議 会	4	大崎	レタス キュウリ	施設野菜(レタス、キュウリ)の産地力向上 ①レタスの高度環境制御栽培施設整備 ②キュウリの栽培技術の向上	販売額の10%以上の増加	29	4,854,753 円/10a 当たり	2.23	ha	417,900	kg	259	円	3	12,646,673 円/10a 当たり	2.79	ha	846,840	kg	413	円	3	10,227,032円 /10a 当たり	2.9	ha	674,974	kg	439.4	円	320	円	277	円	1.155	11,218,716 円/10a 当 たり	81.7%	令和3年度もコロナ禍の影響等により販売面において不調だった。そのため実績においても目標を下回った。今後も目標達成に向け更に指導していく。	高度環境制御栽培施設及び水耕設備を整備したが、販売額が新型コロナウイルス感染症等による影響で、目標額よりも77%と不調だったため、成果目標を達成することができなかった。県では、目標達成できるよう、引き続き関係機関・団体と連携して進捗管理等を把握し、指導する。	販売額及び栽培面積実績と目標値を比較し、検証する。 【価格補正根拠】 JAそお鹿児島におけるきゅうり販売単価	レタスは、契約取引のため価格補正なし

(3) 契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上とすること

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
						年度		面積		総生産量又は総出荷量		契約取引量		年度		面積		総生産量又は総出荷量		契約取引量		年度		面積		総生産量又は総出荷量		契約取引量																		
						年	度	単	位	単	位	単	位	単	位	年	度	単	位	単	位	単	位	年	度	単	位	単	位	単	位															
大崎町農業再生協議会	3	大崎	さつまいも	さつまいも産地の形成 ①加工さつまいもの面積拡大 ②農産物貯蔵施設の導入	契約栽培の割合の10%以上の増加かつ50%以上	29	0%	15.8	ha	316	t	0	t	3	100%	22.4	ha	536	t	536	t	3	100%	13.1	ha	263	t	263	t	契約取引量（契約書）と出荷実績を目標値と比較し、検証する。	100%	労働不足等により栽培面積は減ったが、契約量としては契約書に基づき100%契約を行い、達成している。	労働不足及びサツマイモ基腐病の影響等により栽培面積、出荷量が減少したが、集出荷貯蔵施設の導入により安定出荷が図られ、契約栽培の拡大が進んだことから成果目標を達成することができた。													

(6) 労働生産性の10%以上の向上

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状												目標												実績												地域(県又は国)の価格(販売単価)				補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
						年度		面積		生産量又は出荷量		価格(販売単価)		労働時間		年度		面積		生産量又は出荷量		価格(販売単価)		労働時間		年度		面積		生産量又は出荷量		価格(販売単価)		労働時間		事業実施前年度	目標年度															
						年	度	単	位	単	位	単	位	単	位	年	度	単	位	単	位	単	位	単	位	年	度	単	位	単	位	単	位	単	位	単	位															
伊佐市農業再生協議会	2	伊佐市大口鳥巢	根深ねぎ	特に労力を要する根深ねぎの「調整・包装等装置一式」を増設することで、労力軽減及び栽培面積の拡大を図り、労働生産性の10%以上の向上を図る。 また、育苗及び収穫作業から出荷調整作業をドリームファームが自社で保有する機械で行い、契約農家に栽培管理を委託することで効率化を図る。	労働生産性の10%以上の向上	30	78,105,000円 / 29,673時間	2.632	円	8.5	ha	400	ケース/日 (1ケース3kg)	78,105	ケース/年 (234.3t)	1000	円/ケース	349	H/10a	3	100,000,000円 / 32,188時間	3,106	円	10.0	ha	500	ケース/日 (1ケース3kg)	100,000	ケース/年 (300t)	1000	円/ケース	322	H/10a	3	2,503円	81,381,123円 / 32,503時間	9.6	ha	76,578	ケース/年 (1ケース3kg) (229t)	1062	円/ケース	340	H/10a	県単価 269円	県単価 305円	0.882	71,778,150円 / 32,503時間	-89.50%	作付け面積は、自社の面積は拡大したものの出先の面積が減少し目標を若干下回った。 また、7月10日の豪雨と8月の長雨で生育不良となり、予定していた出荷数量に届かず、売上目標額も達成できていない。 また、収穫したネギのサイズが不揃いのため調整作業、仕分け作業に通常よりかなりの時間を要したため、労働時間の短縮が図れず、労働生産性の向上が達成できなかった。 露地野菜は特に天候に左右されやすく、生産量や価格への影響が大きい。昨年度は機械導入の効果が出てきていることから、ネギの生育が順調であれば成果目標の達成は期待できる。	根深切り皮むき機、結束機等を導入したが、令和2年に引き続き7月に豪雨災害があり、取組主体でも根深ねぎに被害を受けた。その結果として、出荷量が減り、加えて調整作業に多くの時間を要したため、労働生産性が低くなり、成果目標を達成することができなかった。 県では、目標達成できるよう、引き続き関係機関・団体と連携して、適期栽培管理や選別作業の徹底等について指導する。	
肝付町農業再生協議会	1	肝付町高山	かんしょ	移植機等の導入による労働生産性の向上	労働生産性の15.4%の向上	30	3,008円/h	59.8	ha	1,370	t	76,723	千円	42.7	hr/10a	3	3,471円/h	70.0	ha	1,618	t	88,677	千円	36.5	hr/10a	3	2,416円/h	59.0	ha	971	t	53,102	千円	37.3	hr/10a	移植用 56円/kg でん粉用 35円/kg	移植用 58円/kg でん粉用 36円/kg	0.996	2,403円/h	作業日誌、経営簿記等により検証	-130.7%	リース導入後、労働時間の削減は図れているが、基腐病により収穫量等が減少している。 病害対策を徹底し、単収・品質の向上に努めていく。	労働時間の削減は図られたが、病害の発生により収穫量が減少し目標が達成できなかった。 県としては、関係機関と連携し、目標が達成されるよう引き続き病害対策等指導する。									

成果目標の達成率が80%未満の地域協議会

【鹿児島県】

市町村名	地域協議会名	整理番号	作物等区分(対象作物名)	成果目標	現状値	目標値(R3)	事業実施後 (目標年度)	目標達成状況	(参考) 都道府県による改善指導の 判断理由
							実績値		
1 出水市	出水地域果樹産地協議会	1	果樹 (甘夏類, 不知火, 温州みかん, その他果樹類)	販売額の10%以上の増加	551,376円/10a	696,528円/10a	619,526円/10a	47.0%	達成状況が47.0%と低調であること、改善策については優良品種への転換等による生産面積の拡大、単収向上に向けた生産指導の観点からも検討すべきであるため、出水地域果樹産地協議会を指導する必要がある。
2 伊佐市	伊佐市農業再生協議会	2	根深ねぎ	労働生産性の10%以上の向上	時間当たり 2,632円 78,105,000円 /29,673時間	時間当たり 3,106円 100,000,000円 /32,188時間	時間当たり 2,208円 71,778,150円 /32,503時間	-89.5%	達成状況が-89.5%と低調であること、改善策については適正管理を含めた栽培技術向上や選別作業の徹底の観点からも検討すべきであるため、伊佐市農業再生協議会を指導する必要がある。
3 鹿屋市	鹿屋市鹿屋地域農業再生協議会	3	大麦若葉 明日葉 ケール	販売額の10%以上の増加	65,188円/10a	91,397円/10a	84,224円/10a	72.6%	達成状況72.6%と低調であること、改善策については適正管理を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、鹿屋市鹿屋地域農業再生協議会を指導する必要がある。
4 志布志市	志布志市農業再生協議会	6	にんじん	販売額の10%以上の増加	59,596,000円	71,780,000円	57,168,052円	-19.9%	達成状況が-19.9%と低調であること、改善策については適正管理を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、志布志市農業再生協議会を指導する必要がある。
5 錦江町	錦江町農業再生協議会	3	葉ねぎ レタス キャベツ パレিশヨ	生産コストの10%以上の削減	1,622,616円	1,406,060円	1,834,622円	-97.9%	達成状況が-97.9%と低調であること、改善策については生産コスト削減対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、錦江町農業再生協議会を指導する必要がある。
6 肝付町	肝付町農業再生協議会	1	かんしょ	労働生産性の15.4%の向上	3,008円/h	3,471円/h	2,403円/h	-130.7%	達成状況が-130.7%と低調であること、改善策については産地での病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、肝付町農業再生協議会を指導する必要がある。
7 徳之島町	徳之島町担い手育成総合支援協議会	7	キャベツ	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	295,578円/10a	330,667円/10a	167,928円/10a	-363.8%	達成状況が-363.8%と低調であること、改善策については育苗管理を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、徳之島町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。
8 知名町	知名町担い手育成総合支援協議会	6	ばれいしょ	販売額の10%以上の増加(単位面積当たりの増加)	254,505円/10a	298,923円/10a	184,330円/10a	-158.0%	達成状況が-158.0%と低調であること、改善策については病害対策を含めた栽培技術向上対策の観点からも検討すべきであるため、知名町担い手育成総合支援協議会を指導する必要がある。

(注) 1. 本表は、要領第16の4により、都道府県が改善措置の指導が必要とした地域協議会のうち、成果目標の達成率が80%に満たなかった地域協議会(要領第17の2関係)について記入する。

2. 実績欄は、地域(県又は国を含む)の販売単価による価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。